



地図 開封・新開線・隴海線（ロウカイセン）

營業種目	商號	營業所	氏名	電話
飲食店	大成	新興街五號	金氏順得	
喫茶食堂	新幸	龍亭西側文昌街三三號	仁木治利	
喫茶	博多	萬壽街一一號	安田君子	
カフエー	銀バ	南土街公設市場内	福田清子	

二、料理店

營業種目	商號	營業所	氏名	電話
貨席料理	太陽	萬壽街一七號	石丸昇	
	代加	刷絨街四五號	崔永珍	
	東和	刷絨街七三號	三井德七	
	松月	萬壽街二一號	大林稚雄	二〇四
	和歌	青雲街二九號	久保キクエ	
	金剛	新民大路南段一九號	金炳淳	
	北斗	刷絨街三二號	山木慶二	
	大同	刷絨街五九號	三井高榮	
	新大	刷絨街三二號	曹守一	
	金城	刷絨街五二號	武本進一	
	永樂	刷絨街四九號	沈達西	六〇七
料理	豐樂	刷絨街三九號	鈴木フジヲ	
	大豐	青雲街二九號	智正沃	
	觀鶴	青雲街一八號	永田靜子	五五〇

營業種目	商號	營業所	氏名	電話
(朝鮮式)	觀鶴	青雲街一八號	永田靜子	五五〇
	黃鶴	磚橋街一二號	劉光治	
	清流	刷絨街三號	名倉榮子	
	敷泉	城外天地台五號	金五福	
	錦泉	磚橋街四一號	伊東みよし	五六二
	武藏	水三聖廟街九號	山縣カメ	
	金泉	野三聖廟街二二號	方山允賢	一三〇
	開泉	北三聖廟街二三號	柴山タツ	一一一
	八千	力刷絨街一二號	久保庄助	五四五
	好千	代青雲街三五號	金崎トヨ	
	明月	鼓樓街二道胡同三三號	宋普興	二三五
	東洋	磚橋街三號	山本慶一郎	
	大園	開北三聖廟街三三號	木本數男	
	樂本	館慈悲巷一九號	鄭仁波	
	一金	樓萬壽街一五號	許順同	四〇七
	京海	樓北三聖廟街四二號	松山茂永	
	有乃	家三聖廟街二八號	原田フク	
	金井	樓南關大地台街一一號	津田ナツ	
		樓刷絨街二八號	金井富一	

『開封商工案内』、50、51頁  
第18類、喫茶、飲食店、料理店 二、料理店

第十八類 其ノ他

一、古物古衣

營業種目	商號	營業所	氏名	電話
古物商	成信洋行	新民大路四〇五號	尹在信	
〃	青山洋行	新民大路中段三三八號	梁鳳善	
〃	金山洋行	鶴鶴市街四號	金己次	
〃	本島商	大白廟街九號	本島清	
〃	合山	南土街九〇號公設市場二五號	趙尙典	
〃	天隆洋行	河道街一一四號	大伴明	
〃	泰瑞洋行	澤民街五三七號	崔泰	
古衣	飯島洋行	澤民街五六七號	飯島禮子	
營業種目	商號	營業所	氏名	電話
二、代書	同和代書所	山貨店街二〇號	名倉榮市	
〃	協建堂	磚橋街一四號	鄭盛權	

三、紹介業

營業種目	商號	營業所	氏名	電話
紹介業	今泉紹介所	鼓樓街五一號	今泉松太郎	
〃	豐後屋	刷絨街六三號	島居靜馬	
〃	エビスヤ紹介所	萬壽街八號	平岡興堂	
家政婦斡旋	開封家政婦會	小紙坊街八二號	穴井筆子	

四、衛生社、葬儀社

營業種目	商號	營業所	氏名	電話
葬儀社	開封葬儀社	馬道街七號	西川四郎	
衛生社	衛生社	相國寺前街五〇號	姜真兆	
〃	開封衛生社	新民大路中段二四七號	具自然	

五、其ノ他

營業種目	商號	營業所	氏名	電話
千代田生命、富田、富田、日産火災、開封代理店、生命保險	同和生命保險相互會	山貨店街二〇號	柴崎時成	一七
〃	第一徵兵保險	老務農工街四五號	橋本友義	
〃	千代田生命保險出張所	山貨店街一九號	川底忠治	
株會	株會	南土街九〇號	江川繁一	五〇一
封設市場	封設市場	新民公園内	仁木儀市	

『開封商工案内』、52、53頁 第19類、其ノ他 三、紹介業 四、衛生社、葬儀社 五、其ノ他

# 力強し興亞の息吹き

## 交換小姐も朗かにモシク

### 邦人進出を待つ開封

【開封にて大島特派員 發】 滿蒙文明の中心地として古 版と文化の香りを強くもつ開封は 政治都市としての開封本来の姿を とりもどさうとし、事體前州八萬 あつた支那人は最近めだつて復歸 する處を、現在では許州萬と算 せられ、城內中央の大波樓を中心 とするメイン・ストリートに賑わ やかな往來、商店の窓に現はれた 活氣は素晴らしい。大波樓を中心 とするいはゆる大波樓や波草、朝服 などこの邊一帶の特色物の出廻り もシク、と急角度な上昇線を描



日の丸の風車で遊ぶ開封の子供

き、民衆の心には星軍にすつかり 安心したつたのびやかな表情が現 はれ、使用する貨幣でも、軍票、 職票券は喜んで受けとるが、軍票 は一割の切下げでもとくか積みか ちと完全に明朝兩票を帯びてあ る。幾十開封はこの落着きと廣い 路綫をつ、近代の大都市の標相で 多分に日本人を受け入れる條件を 備へ、星軍の殆ど無血に近い入城 によつて破壊されずにすつかりそ のまま残つた市街、茶屋は大手を 掲げて招撫力を示してゐるので一

カモシ〜とすると、カモン〜 トナンバンデスカ、タダイマハ ナシデウ。 と日本語はまことに巧妙、居留人 の多くは日本人の巧みと思つて みるほどだ、加害者自二口からの 通牒をこれほど巧み日本語で撰ぐ までに田中盛久局長が教養した努 力は大したものだが、今ではその 教養者が支那語の刊さん、關さん

月結現在の日本人の居留人口は屈 出分のみで六百九十一人、未開分 を合すれば千人近くに増加し、開 封の革命騒ぎから中へは絶望的に日 本人を城內に入らず、當時任に日 本人を城內に入らず、當時任に日 本人が三名だけだつたといふ、 事體前と想ひあはせると感傷無出 以上の増加ぶり、この開封撤出邦 人の觀望を見る。

ら四人の交換にすつかり感心し てゐる。 開封の現在における経緯、そ してもし新報から、そして信陽 方面へ京漢線を貫くにダツと 入れれば開封と京漢線の交叉 點ともなり、經濟的息吹を旺盛 にすることが予想される、開封 はかくて日一日と興隆を、開封 へ来て来るが在留邦人の一致 して、いふことは、 ぐんぐんに氣候もよく市街もおち

料理飲食業が例により断然トッ プを切り内陸人合せて二百九十 一人、お蔭で開封の街には、お でん、おすし、の強い波、 〇〇會館、〇〇屋の門を 賑やかし出入する日本御婦人の姿 が飽かず見られる、お次が百七 十四人の雜貨商、第三位が四十 四人の旅館業として總賣業二十 四人、賃屋二十八人、時計商十 八人、藥商十七人、新聞販賣 業各十二人がまじつたといふ のだが、このほか豆腐業二十八 人、遊技業六人、洗濯業十人、彈草 業四人、運送業三人、菓子商十 人、塩球屋一人、電氣事十八

してゐるが、職員百六十名を擁し て二月十一日の開封開封日を期し て完成した開封の張り切り方 も嬉しい、大江特務隊長、伊藤 部長、田中局長、局長を離間に一 戸一人主義で脱び出した職員は早く 受領書を手にして

奥地は 蘇了

本社特派員 の現地報告

次、檢、晉、武、封、開  
地、城、運、新、陽、汾、臨  
ら、か

## 運城は製鹽開始

### 我新技術で頽勢挽回

【山西省運城にて太田特派員發】 河東鹽といふ名前で知られるる 運城大鹽池の製鹽が運城後初めて 一よ、今年中旬から開始される ことになつた。 なにしろ長さ七里、最大幅一 里といふ大鹽池だけにこれまで 年生産額約一千萬斤、鹽稅だけ で六百萬圓をあけてゐた山西省 の大寶庫だけに軍費後の製鹽事 業の着手は緊急事であつたが既 に鹽務管理局河東分局の整備も 終り、苦力の募集も着々進んで ゐる。 本年度の製鹽理想は例年の約八 割七百五十萬斤とされてゐるが、 これまでこの鹽池では四十一噸の 産額と補する鹽池の持主がそれぞ れ長年の鹽稅と補給のカンで鹹水 を噴き出す井戸を就別調査する老 僱といふ鹽池を掘、その指導の もとに鹽田を拓くといふ鹽池の 的な製法が行はれてゐるのに對し

つき平和な開封に長期建設の覺 悟が、つちり腰をおちつける優 秀な日本人が何故どんく來な いか、千人や三千人の在留邦人 では河川の都開封も淋しがつて 泣くといふことだ。 記者も河南の都開封にはもつと安 心し切つて、明後方建設費をも つて、強靱な方領を備へた日本人 が溢れるほど來るべきだと思ふ